

215773
7
昭和25年10月8日

明治四十一年四月廿日東京靈南坂官邸
於テ司法官招待席上伊藤統典演説要領
御来臨ヲ煩ジタリ次第ナリ尚又司
法大臣閣下ノ御承諾ヲ得テ司法官
諸君ニ一言申述ヘタキコトアリ并ニ録
ノ為ニテ久韓国ニ備聘スル司法官



統
監
守



明治四十二年四月廿日東京雲南坂官邸
於テ司法官招待席上伊藤統共演説要領
本日ハ態々御来臨ヲ忝ニ深謝ニ堪ヘス
自分ハ屢々司法官諸君ト面晤スルノ機
會ナキヲ以テ此頃諸君カ司法大臣ノ
召集ニ應ジテ御上京中ナリ由ヲ承リ
御来臨ヲ煩ヒタハ次第ナリ尚又司
法大臣閣下ノ御承諾ヲ得テ司法官
諸君ト一言申述ヘタキコトアリ并ニ餘
ノ義トアリテ韓國ニ傭聘スル司法官ノ

明治四十二年四月廿日東京雲南坂官邸
於テ司法官招待席上伊藤統共演説要領



撰^拔就^テ今次出京中、倉富法部
次官より御願申ス答ナシ之^ニ對シテ
御助力ヲ仰キタシト考フハ譯ナリ昨年
モ本邦より多數ノ司法官ヲ韓國ニ備
聘シテ各^ニ其職務ニ從事セシメタルカ
也此節ハ區裁判所數ヲ増加スルニ付
必要ノ人員僱聘為倉富次官ニ歸
朝致シタリ韓國、裁判事務ハ從來ノ
裁判ニ比スレハ全ク新規ノ施設ヲ為
ス均シク殊、彼國固有ノ風俗習慣

上ニ於テ裁判權ノ如何ナハモノナカ
ク心得ス且從來普通行政官ノ事
務ト裁判官ノ事務トヲ混合スルコト
究モ我國舊幕時代ノ狀態ニ異ナラ
ズ尤モ舊幕時代ニハ幾分カ特別ノ
例ナキニアラサハモ各藩、裁判或ハ支
那ノ現今ノ制度ト略同一ノモノナリ
即チ司法モ免角簡明ヲ尚ヒ普通
行政官ノ手ニ於テ之ヲ行ヒ來レリ而
テ其司法權ヲ普通行政權ヨリ分離

して獨立せしむるノ方針ヲ採リタハ一昨
年ノ日韓協約調印以來事々して
昨年より僅々其實施ノ端緒ヲ啓キ
タリ即チ大審院控訴院地方裁判
所ノ三審制ヲ採リ日本より多數ノ司
法官ヲ傭聘シテ既ニ開廷ノ運ニ到
レリ區裁判所ノ如キモ其端緒ハ啓ケ
タハモ其數多キ爲ニ一時々悉ク開設
スルヲ得ス漸次増置スルニ隨テ多ク
又ヲ要スル次第ナリ何事々就テモ

因一轍ニ人ヲ得ルノ至難ナルニ因ヨリ
贅員言ヲ要セサルニナラス韓國區裁
判所ノ如キハ非常ニ法律精通シタ
ル人ヨリモ寧リ口相當ノ經驗ヲ積ミ人
民ノ爭議訴訟ヲ勸解スルニ力ヲ籠
メ一面ニ韓人ニ對シテ裁判ノ何物
ナルカヲ周知セシムルノ人物ヲ目下最
必要トスルナリ固ヨリ全ク法律ノ知
識ナキモノハ任用スル能ハサレトモ日
本内地ニ比スレハ自ラ其輕重ヲ異

ニスハ次第ナリ故ニ必スシモ春秋ニ寓シ
且ツ學識深遠ナハ敏腕家ヲ要セス
寧ロ篤實鄭寧ニシテ親切ニ人民ヲ
教導シテ梯國ノ事情ヲ熟察シテ平
平ナハ裁斷ヲ下シ得ル人ナシハ多ク
少年齡ノ老ケタル者ニテモ固ヨリ妨
ナシ今四ノ人選ニ就テモ諸君ハ右ノ趣
意ニテ秋司法官中ヨリ割愛セラレシ
束得ル限リハ御助力アラクニコトヲ切望
ス是レ御繁忙中本日態々諸君ノ御

束臨ヲ煩ハシタル所以ナリ

昨年モ司法官到着ノ節自分ハ京
城ニ於テ宴會ヲ催シ聊カ新制度
採用ノ趣旨ニ就テ彼等ノ注意ヲ
喚起シタルコトアリ各司法官ハ其後
各々任地ニ就テ曩々自分ノ與ハタル一
片ノ訓示ヲ充分ニ服膺シ警察官
財務官或ハ他ノ地方行政官ニ比ス
ル司法官ニ對シ人民ノ信賴スル意向
現行制度ハ最新ラシキニ拘ハラス

其成績は最好良ナルヲ示セリ仍テ自
分の猶相當ノ人物ヲ得テ此制度ノ完
成ヲ期セント欲ス上級ノ裁判所即
チ地方裁判所以上、在テハ法律適用
ノ點ニ重ク措クモ區裁判所ニ至テハ
事小ニシテ而カモ民心ノ關係スルコト
多シ故ニ親切ニ其事務ヲ取扱フコト
誠ニ望マシ結局ハ固ヨリ法ニ據ラサ
ルヘカラスト雖彼ト之トハ多少其趣
ヲ異ニスルモノアリ其御念ニテ倉富

御助勢ヲ冀フ殊ニ司法大臣閣下、
第シテハ法官割愛ニ就テ特ニ其御
援助御注意ヲ願ハサルヲ得ス本
邦ニ於テモ法官ノ養成ハ之ヲ忽ニスヘ
カラスハハ勿論ナルノミナラス一時ニ多
數ノ法官ヲ備聘セシムルハ其補充
ニ困難ヲ感セラハキハ萬々之ヲ承
知スレトモ韓國ニ於テモ全ク從來
ノ人心慣習ト異ナル新制度ヲ創設
シテ最初ヨリ民心ヲ之ニ傾ケシメシ

充
益
守

新
監
庫

ト欲スニ次第ナシハ此點ヲ諒察セラレ
特ニ御書カヲ希フ茲ニ昨年自分
ノ傭聘法官、對シテ爲シタル演説
ノ筆記アリ其内容ハ諸君ノ御熟
知ノコトノミナシハ蛇足ナシトモ追テ右
寫ヲ各位ノ御手許ニ差出スヘシ御一
讀ヲ賜ハラハ幸甚ナリ目ハ韓国ニ在
勤スル我法官ハ幸ハ自分ノ趣向ヲ
之不ニ了解シテ各地ニ活ミタル爲先
般地方御巡幸ノ節自分ノ實地ニ就

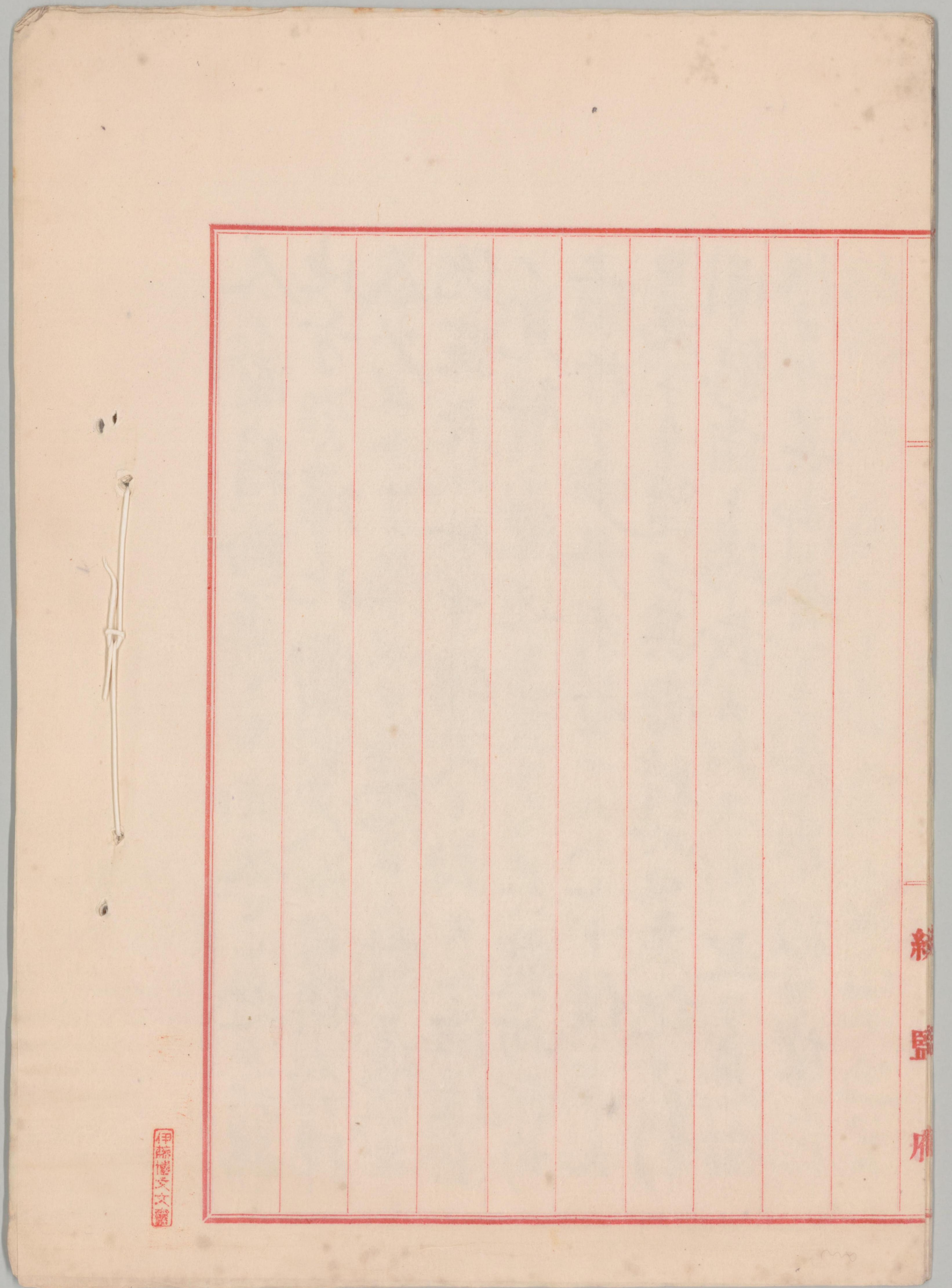
キ右法官等カ韓民ヲシテ之ニ信頼セ
シムルノ端ヲ啓キタルヲ目撃シ頗ル満
足セリ裁判ノ事タル他ノ行政事務
ト劃然區別シ易キヲ以テ其成績モ
亦容易ニ之ヲ判別スルヲ得ルノ便アリ
加之財務又ハ地方行政ハ官吏ノ方
ヨリ國民ニ働キカクルモノナシトモ裁
判官ノ職務ハ民刑訴訟共ニ事ノ起
ルヲ待テ之ニ断案ヲ下シ(檢事ノ職務
ハ固ヨリ其趣ヲ異ニスレトモ)且ツ原

充
監
守

精
監
所

被兩造ノ在ルアレハ常ニ公正ニ之ヲ
判定スレハ民心ノ服セサル筈ナシ固
ク、韓国ノ如ク言語不通且ク人情
風俗ノ異ナル場所ニ於テ成功ヲ得ル
ノ難キハ論無キ所ナレトモ既ニ其端緒
ハ確ニ良好ナリ是レ自分ノ最モ欣
所ニシテ此邊ノ報告を併セテ之ヲ諸
君ニ呈セシト欲スル次第ナリ追テ差出
スルキ昨年ノ演説要領筆記中
ニ外交上ハ懸案問題ニ屬スル韓

人ノ国籍論等ニモ言及セリ之レ北韓
地方ニ歸化露國人ト自稱スル韓
人少カラサルヲ以テ法官ニ對シ豫メ
統監府ノ此等韓人ニ對スル法律上
ノ見解ヲ陳述シ置ケハ其職務執行
上ニ於テ多少有益ナルヘシト信シタル
カ為ナリ随テ其當時此筆記ヲ新
聞紙等ニ掲載スルコトハ之ヲ見合
セタリ其御意ニテ御取扱ヲ望ム



新
監
用

新
監
用

